

令和元年度取組状況について

1 診療所情報共有・啓発事業

県央地域の休日夜間緊急診療所の開設状況、救急医療の周知等を行い、適正受診の意識啓発を図った。

(1) ガイドブックの配布・訂正

救急医療の現状及び適正受診の啓発のためのガイドブックを39万4千部作成し、圏域の全世帯に配布したところであり（平成29年12月）、引き続き、転入者等に配布した。

(2) 診療所情報ホームページ掲載

平成29年5月に構成市町村のホームページに掲載した。

(3) 広報紙への掲載

救急医療適正受診啓発の記事を構成市町村の11月の広報紙へ掲載した。

(4) 健康セミナーの実施

子どもの急な病気への対応方法を学ぶとともに、適正受診の啓発を行い、地域医療の理解促進を図ることを目的に健康セミナーを開催した。

開催期日：令和元年11月17日（日）①10:15～12:00、②14:30～16:15

会場：①ひたちなか市子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」

②水戸市大町子育て支援・多世代交流センター「わんぱく・みと」

参加者：63名（定員：各会場保護者30名とその子ども 応募：75名）

講師：順天堂大学小児科医

対象：県央地域に居住する未就学児とその保護者

2 診療所運営支援事業

水戸市休日夜間緊急診療所の運営体制の充実を図るため、構成市町村のうち休日夜間診療所を設置していない那珂市、茨城町、大洗町及び城里町が患者数に応じて財政支援を行った。

3 産婦人科医確保事業

圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を維持し、県央地域として周産期医療を支えるため、安定的な医師の確保に苦慮している水戸赤十字病院に対して、産婦人科医の確保のための経費について、財政支援を実施した。

4 小児科医確保対策事業

3月中旬を目途に、平成30年6月に行った茨城県央地域における小児医療の調査及び今年2月に公表された平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査の結果をもとに、小児科医の現状及びその確保の必要性がわかるよう、「小児科医」のホームページを更新する。

5 看護師等確保事業

潜在看護師の復職支援を行うことで看護師の確保を図るため、茨城県看護協会と連携して病院見学ツアーを実施した。

開催期日：①令和元年10月16日（水）、②令和元年10月29日（火）

参加者：①4名、②1名（定員各日10名 応募者①5名、②3名）

復職者：上記参加者のうち2名（令和元年12月末現在）

見学先：①介護老人保健施設渡里の里及び水府病院

②ひたちなか総合病院

事業内容：病院及び介護老人保健施設を見学し、勤務体制、福利厚生、教育システムの話や復職者からの体験談などを聞いた。

6 小中学生病院体験ツアー事業

小中学生が医療現場を体験し、医療に対する理解を深め、将来の選択肢として医療従事者を目指す動機付けを図ることを目的に実施した。

開催期日：令和元年8月10日（土）

会場：水戸済生会総合病院

参加者：県央地域内の小中学生48名（定員50名 応募者112名）